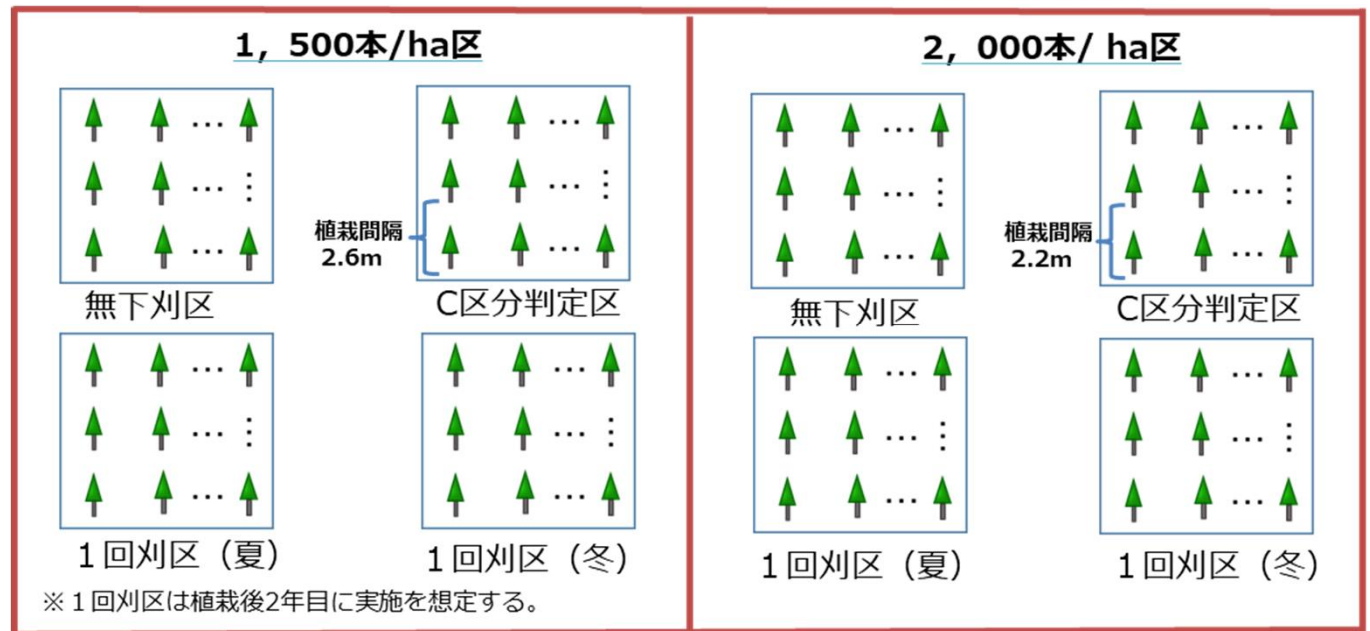


下刈実施方法(回数、時期)の違いが植栽木の初期成長に及ぼす影響の検討 (令和6年度新規)

赤滝国有林526に2林小班内 0.58ha

1,500本/ha、2,000本/haの2種類の植栽密度による試験地を設定し、各試験地毎に①無下刈区、②C区分判定区、③1回下刈区(実施時期:夏)、④1回下刈区(実施時期:冬)を設け、ヒノキコンテナ苗を100本ずつ植栽します。その後、回数や時期を変化させ下刈を実施し、試験地の植栽木を対象として、樹高、根元径、生存率等を調査し比較分析を行い初期保育省力化に向けた技術を検討します。



※C区分判定: 植栽木と雑草木の競合状況を踏まえ下刈りを実施。